

## 卒業していく皆さんへ贈る言葉

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

「ついに（やっと）高校を卒業できる!」という人もいれば、「もう少し高校生でいたい!」という人もいるかもしれませんね。いずれにしても、皆さんは本日、高校を卒業し、それぞれの新しい道を歩み始めることになります。4月からの新天地でのご活躍をお祈りしています。

ところで、あなたにとって、高校生活で得た最も大きなものは何だったのでしょうか？もちろん1つに絞ることはできないほど、たくさんの貴重なもの（こと）を得たことでしょう。私の経験を申し上げると、この歳になって今でも残っている高校時代の貴重な財産と言え、やはり当時の『友』です。

高校を卒業して38年が過ぎますが、毎年のように地元で集い、楽しいひとときを過ごします（去年はコロナで中止しました）。みんな同い年の56歳、会社を立ち上げて社長をしている友や大企業の役員になっている友もいれば、転職を繰り返しながらも頑張っている友もいる。陶芸家になった友、子育てが一段落して新たな趣味に熱中している友、大病を患い必死にリハビリをしながら仕事を続ける友、この歳になってなぜか急にフリーターになった友、奥様を病気で亡くした友… 高校時代はいつも一緒にいて、同じような生活をしていましたが、その後の人生は人それぞれ… 仕事の悩み、家庭の悩み、親の介護、自分の将来への不安など共通する部分は多少あるにしても、やはり、人それぞれです。当然と言えば当然のことです。

ただ、不思議なことがあります。高校卒業後はそれぞれが異なる人生を歩み、ともに過ごす時間などほとんど無いにもかかわらず、みんなが集まると、一瞬にして高校時代のあの楽しかった時間に戻れるのです。見た目は完全におじさん、おばさんになっているにもかかわらず、悩み事や相談事を話している時の心持ちは、高校生の時と同じなのです。大人になってから知り合った人に相談するのは全く違う感覚というか、雰囲気はそこには常にあります。なぜなのかはわかりませんが、おそらく、高校生時代の3年間というのは、まさに青春時代であり、青春時代をともに過ごした者同士の間だけに生まれる何か特別に濃密な、口ではうまく説明できない関係性が育まれ、その特別に濃密な関係性はお互いが再会することでまた再生されるものなのではないかと思います。

高校時代の友は、人生において貴重な存在です。気をつけなければいけないのは、いくら特別に濃密な関係性が生まれた仲であっても、疎遠になってしまうとその関係性が再生されないこともあるようです。皆さんはこれから仕事をもち、あるいは家庭をもち、地元を遠く離れることもあるかもしれません。どんなに仲の良かった友であっても、その関係性を長く維持するためには、どんなに忙しくてもお互いに連絡を取り合う努力をしないとはいけません。

皆さんが、これから先も、高校時代の友を大切にし、いくつになっても高校時代の心持ちに戻りながら、その時々のお互いの人生について語り合える機会を持ち続けてもらえればと思います。そして、その時には母校である『イチカシ』や『イチカシの先生方』も思い出してくれたら幸いです。いつか、どこかでお会いできることを楽しみにしています。

Keep studying, practice hard, polish your skills, and NEVER give up on your dreams!